

レジメン名

CDDP+VP-16(患者限定)

出典 J Clin Oncol.20(14):3054-60(2002)

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

子宮頸がん(SCLCに準じる)

☒進行・再発

☐補助療法(術前・術後)

☐

☐

投与減量の基準

ANC	500/mm ³ 未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満
Hb	7.0g/dL未満		
	上記該当の場合、次コースのエトポシドを前コースの75%とする。		

投与中止の基準

WBC	3000/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
		CLcr	60mL/min未満※
その他	※CDDPを50%減量		

1クール期間

21-28日

総クール数

4クール

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
エトポシド	100mg/m ²	輸液500mL	120分	d1-3
シスプラチン	80mg/m ²	輸液適量 計500mL	120分	d1

1日投与順 (経時的にプレmed'ication・ポストmed'ication、溶解液まで含む)
day1 ①ハロプロトン0.75mg/kg+デキサート9.9mg(15min) ②エトポシド100mg/m ² +輸液500mL(2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③硫酸マグネシウム4mL+ソルデム3A500mL(60min) ④マンニト250mL(30min) ⑤シスプラチン80/m ² +輸液適量計500mL(2hr) ⑥硫酸マグネシウム4mL+ソルデム3A500mL(60min)
day2-3 ①デキサート6.6mg+生食50mL(15min) ②エトポシド100mg/m ² +輸液500mL(2hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ)
day4 ①デキサート6.6mg+生食50mL(15min)
<内服> day1-3 アプレビタントカプセル(125-80-80) day1は化学療法開始1時間前、day2,3は朝食後 day1-4 オランザピン5mg 夕食後 (糖尿病は禁忌、高齢者は2.5mgへ減量を考慮するなど慎重に投与)